



WHO健康都市

尾張旭市健康都市プログラム

市章



昭和32年10月旭町議会で制定され、市制施行後も引き続き市章としています。
旭の「ア」の字が3つ丸く連なり、市民の団結と発展を示しています。

市の木「くすのき」



昭和45年、市制施行を記念して制定しました。

市の花「ひまわり」



昭和55年、市制施行10周年を記念して制定しました。

尾張旭市健康都市プログラム

平成17年12月

- 発行 尾張旭市
- 編集 企画部秘書広報課健康都市推進室

〒488-8666
愛知県尾張旭市東大道町原田2600番地の1
電話(0561)53-2111(代表)
<http://www.city.owariasahi.lg.jp/>

r100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOYINK 大豆油を原料とした植物性油インクを使用しています。



HEALTHY CITY
OWARIASAH

健康★都市

尾張旭市健康都市宣言

緑と太陽に恵まれた わたくしたちのまち尾張旭市は
市民一人ひとりが 心も体も健やかで
いきいきと暮らすことを 永久の願いとし
ここに「健康都市 尾張旭」を宣言します

- 一 おおきな夢を持ち 健康はみずから築きます
- 一 わたくしたちは 進んで健康づくりに努めます
- 一 りんとした生活から 健康づくりを始めます
- 一 あさひのように ころも明るく爽やかな生活をおくれます
- 一 さんさんと降り注ぐ太陽のように 健康に輝きます
- 一 ひとと人のふれあいを大切に「健康都市 尾張旭」を目指します

(平成16年8月1日宣言)

健康の日

4月29日

新緑の美しいさわやかなこの時季が、緑あふれる本市のイメージにぴったりで、何より健康づくりを意識するのにふさわしいという、皆さんからいただいた意見をもとに決めました。

(平成16年8月1日制定)

尾張旭市の概要

位置

尾張旭市は、愛知県の北西部に位置し、尾張丘陵とこれを開いた矢田川の流域に広がっています。市域は東西5.7km、南北5.6km、その面積は21.02km²です。

- 東経137度2分17秒(市役所)
- 北緯35度12分47秒(市役所)
- 標高 海拔57.8m(市役所)
- 気温(平成15年)
平均15.7℃
最高31.5℃、
最低-0.2℃
- 降水量(平成15年)
年間1,905.0mm



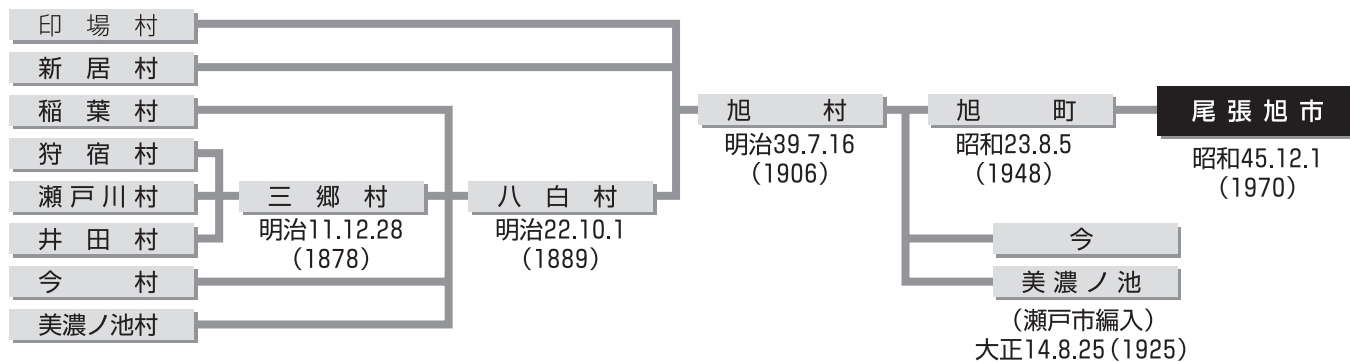
沿革

尾張旭市の歴史は古く、弥生時代から居住地となっていたことが、市内各地で発見された遺跡によって確認できます。市内には、豪族の居住を示す古墳がいくつか存在し、古代の農村計画として知られる条里制の遺構もみられました。

中世には、開墾が進み、当時の豪族が住んでいた城跡が市内各所に分布し、中世末の歴史的な事件といわれる”小牧・長久手の戦い”の舞台となっています。

近世に入ると開田が進み、農民は「五反百姓」がほとんどでした。また、丘陵を控えたこの地域では、ため池を築造しなければ、水田利用は不可能でした。今でも当時のため池が多く残っています。そして、本市域の原形となった六つの集落(印場村、新居村、稲葉村、狩宿村、瀬戸川村、井田村)が形成されたのもこの時期です。

明治に入ると、近世の村が合併し旭村ができました。その後、昭和23年に旭町となり、昭和45年12月1日には市制を施行して尾張旭市になり、現在に至っています。



人口

本市が誕生した昭和45年当時、3万3千人余であった人口は、まもなく8万人に達しようとしています。これは、中部圏最大の都市名古屋市の東に隣接し、その中心部まで約15km、電車で約20分という恵まれた立地条件や、土地区画整理事業をはじめとする都市基盤の整備の進展が、住宅都市として発展した大きな要因と考えられています。また、緑豊かな住みやすいまちとしてのイメージが強いことも尾張旭市の特徴の一つです。

●総人口 79,638人(男 39,260人、女40,378人)・30,480世帯(平成17年11月1日)

●将来人口 平成25年 88,000人(平成15年 尾張旭市基本構想)